

## 令和5年度新見市地方独立行政法人評価委員会（第1回）議事要旨

日 時 令和5年7月10日（月）13：00～16：35

場 所 公立大学法人新見公立大学 本館2階 会議室A

出席者

評価委員会 岡崎委員長、中西委員、加藤委員

公立大学 公文学長、小田副学長、田枝事務局長、斎藤学生部長、矢嶋学生部次長

吉田次長、難波課長、吉川課長、眞治課長補佐、太田主事

事務局 岩井参与、宮本参事、津内主事

### ■要旨

「令和4年度事業報告書」、「令和4年度に係る業務の実績に関する項目別実績報告書」、「令和4年度財務諸表」、「令和4年度決算報告書」の各資料に基づき、公立大学から説明を受けた。

今回の評価委員会では、令和4年度事業実績についての大学からの説明にとどめ、次回評価委員会（7月26日（水）13：00から、市役所本庁舎3階第4委員会室）にて評価を審議することとした。

### ■詳細

#### I 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置

##### 1 教育

###### 1) 教育の内容

委員：健康保育学科の学生の幼稚園教諭の免許取得者44人のうち、42人が特別支援学校教諭の免許を取得しているが、何か活用できるのか。

大学：兵庫県、福井県、静岡県など数件というように就職先としては少ないが、幼稚園・こども園・保育園の現場では特別支援の知識を持った人のニーズが非常に高く、就職に有利になっている。

委員：公務員は人気があるため、地域福祉学科の公務員11名は受験倍率等に繋がる良い実績と感じた。

委員：延世大学と学部間学術交流協定を締結できた理由は何か。

大学：地域福祉学科の鄭教授の師匠が延世大学にいて、師匠と弟子の研究交流をきっかけに学生・教員間の交流を行うこととなった。

委員：有料公務員講座は多くの受講者がいたのか。

大学：多くの学生に受験していただいた。

委員：公務員独特の試験のパターンや出題されやすい傾向などの講習を行ったのか。

大学：教養・専門・SPIなど年間30回ぐらいに分けて5万円払って実施する。

委員：今年の国家試験の合格率は残念か。

大学：残念。心や体の病気で1人くらいは落ちる学生がいるため100%は難しい。

委員：他の大学に比べてレベルは高いか。

大学：高い。入学者のレベルも高いし、教員が手厚く指導しているため合格率は上がっていると思う。

委員：情報活用能力について、だいぶスキル上がってきたように感じる。

大学：そうだ。キーボード入力や検定試験で上がるようになってきた。ブラインドタッチを含め、ゲーム感覚でキーボードタッチができるソフトを取り入れている。

委員：学校現場にいても若い先生が早い。ほとんどブラインドタッチで、学生時代からトレーニングされているのは、現場では助かる。

## 2) 教育の実施体制

委員：教員側と学生側では、学修成果の認識にギャップがあるのか。

大学：ある。学生の方が悲観的な事が多い。成長したこと、4年間でここまで達したことの説明を行い、認識の一致を経て卒業できるようにする。

委員：各体制の強化などに対する課題抽出を図ったことで、たくさん課題が出てきたか。

大学：完成年度を迎えたことで分かった課題も多くあり、今後は反省して、改善していければと思っている。

委員：課題については、学生からの要望で分かったのか。教員から分かったのか。

大学：学生と教員、両方の意見を集約している。

## 2 研究

### 1) 研究の内容

委員：自己評価が4にならない理由は何か。

大学：教育の大学ということで、研究にお金や人を多く割くことができているため4にならない。教員が自分で科研費を集めてくることができているため、その辺りはレベルが上がっている。

委員：大学として、科や教員同士が連携しないと大きい金額の科学研究費を取れないと思うが、何か推奨していることはあるか。

大学：例えば科学研究費の申請書の記入方法の研修会などできることから実施しようと考えている。

委員：教員の業務が多すぎて、科学研究費を取るところまで手が回らないということはあるか。

大学：大学院の教員は業務が増えつつあるため、忙しくなっている。

### 2) 研究の実施体制

委員：ICT技術担当職員や技術者がいないため、教員に大きな負担があったのか。

大学：あったが、週に2日業者が来て相談できる体制にしたところ、教員もストレスなく、事務員も呼ばれることがなくなった。

## 3 学生の確保及び支援

### 1) 学生の確保

委員：昨年度は自己評価3だったが、4にした理由は何か。

大学：入試倍率の対前年比が、昨年度は下がり、今年は上がっている。学生確保が難しい時代の中で、できることをして確保しており、これ以上の状況はなかなか見込めないため。

委員：受験生向けに実施したWEB個別相談会の件数は結構あるのか。

大学：10件程度。オープンキャンパスが通常開催されたことで、コロナ禍のころよりは減っているが、オープンキャンパスで個別に相談できる時間帯を作って対応するなど、きちんとした個別の対応ができています。

委員：他の学科と比べ、保育の入学辞退率が高めで、入試倍率も低めであるが、何か対策をしているのか。

大学：今までの学校推薦選抜、一般選抜の他に一段階早い総合選抜という枠組みを作る。本学の健康保育学科が大好きな、本当に目指したいという学生を、その選抜で選ぶというようにしている。近隣の強豪校の受験科目と比較して、受験しやすいようにとか、有利なように変えていく。また、特別支援の免許が取れること、市町村の試験で有利なことが分かった防災士の資格が取れること、医療のことが学べ、感染症に詳しい他とは違うカリキュラムがあることを上手にPRして学生を確保したいと考えている。

## 2) 学生に対する支援

委員：文献閲覧機能の充実で、閲覧席の充実を実施したのは、閲覧席が少なかったからか。

大学：席数は同じだが、個別に区切ることによって隣を意識しなくなり、学生利用率が上がった。

委員：保健管理センターの常勤医師と保健師は休日でもだれか待機しているのか。

大学：休日は小田副学長がTeams（ビデオ会議ツール）で対応している。

委員：入学時の心身アンケートで、高リスクと判定される人は多いのか。

大学：クラスで数名いる。アレルギーなど個人の特性が増えているため、思っているより多く、アンケートに基づいて対応する。

委員：障害者認定で入る学生もいるか。

大学：心臓が弱く、階段が登りにくいなど配慮が必要な学生はいる。後ろに座られるのが嫌だ、スケジュールを立てるのが苦手というような認定はされない個人の特性についてアンケートで事前に把握している。

委員：有料公務員講座はどういった形態で実施しているのか。

大学：コロナ禍では一時期WEBで実施したが、基本的には(株)東京リーガルマインドが本学に来て実施した。

委員：費用はどのくらいかかるのか。

大学：1人当たり年間48,000円。補助はしていない。大学がまとめて交渉することにより安価に抑えられている。

委員：よくある講座は10万円超える。15万円か20万円のイメージ。

大学：専門分野を入れると時間もかかるし、費用もかかるため、地方公務員をメインとして、ベーシッ

クなところをターゲットにしている。

委員：このような講座を開いてくれると、保護者にとってすごく安心感がある。

## Ⅱ 社会貢献に関する目標を達成するために取るべき措置

委員：自己評価3としているが、サテライトキャンパスの整備についても成功しているため4にしても良いのではないか。3にしたのは何かやり残したことがあるのか。

大学：学生も活発に各地域に出たり、多くボランティアに参加したりと上がっている感覚はある。本学としては評価委員で評価を上げてもらいたい。

委員：駅西サテライトが完成して、本格的に始動しているため活動内容をもっと記入しても良いのではないか。

大学：縦割りのように記入したため、このような記載になっている。今後、集約的に記入する。

委員：駅西サテライトの実施内容を全て記入すると多くなると思う。

大学：それを踏まえ別紙にまとめている。全体を眺めて見えなかったため評価が悪くなったのかもしれない。総合的に見れば、実績が上がっている感覚はある。

委員：新見駅西サテライトの年間利用人数7,700人を記入するように。

委員：アルバイトやボランティアの募集は大学が発表しているか。

大学：地域共生推進センターが集約して、整理をするようになって急激に地域貢献やボランティアが増えた。

## Ⅲ 地域に開かれた大学づくりに関する目標を達成するためにとるべき措置

委員：SA活動について、唐松地区、下熊谷地区、草間地区とは何か縁があってこの地区で活動したのか。依頼があったのか。

大学：依頼があった。

委員：学生支援や学生の社会貢献などの諸問題を解決するための活動内容の計画はSAが独自で行っているのか。

大学：独自で行っている。学生生活を良くするために学生全員にアンケートを取って、問題など抽出し、SA同士話し合っ集約している。

委員：27ページの学生支援に記入しても良いのではないか。

委員：地域貢献については学生にとって勉強になるため、教育内容として教育の方にも記入しても良いと思う。

大学：地域貢献を勉強した学生は、視点が広くなり、教育的には非常に効果が上がっているが、大学の認証評価では、教育での地域貢献についてあまり重視されない。認証評価の項目と一致させたいため記入していない。

委員：地域貢献する過程で、各学生が自分で企画して計画して用意して何かすることが社会に出ると段取りの勉強になる。

大学：実際になっている。企画力や幅広い視点があり、言っていることもしっかりしている。

#### IV 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

##### 1 組織の改善及び効率化

委員：本学組織の見直しについて、明文化はどのようなことを目的としているのか。

大学：学科長同士が月1回集まって学科長調整会議を行っているが、規定上何もないため明文化する。

委員：新しい職員の評価制度が本格稼働しているか。

大学：試行で行っている。

委員：評価制度について、教員は意見があるか。

大学：最初は皆怯えていた。岡大の有名な先生が丁寧に説明され、安心してできた。自己を見つめる機会になる。

委員：自分の評価は半年に1回程度は見るのか。

大学：1年に1回。

##### 2 人事の適正化

委員：業務量からすると職員の数足りているのか。

大学：一気に正職員を採用すると年代が偏るため、期間を区切った職員や派遣職員で増えた事務に対応している。長い目で安定的な運用、運営ができる体制にする。

#### V 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

##### 2 外部資金の獲得

委員：委員：科学研究費補助金の実績額はいくらか。

大学：総額1,118万円。新規採択4件は338万円。継続は19件に訂正。

##### 3 経費の抑制

委員：振込手数料は多くかかっているのか。

大学：極端にかかっているわけではない。手数料が上がったため、まとめて振り込むことで削減にはなっている。

委員：効率的な人員配置の11人は内部異動か、新採用が何人かいるのか。

大学：新見駅西サテライト新設など事務量増加に合わせた配置にしている。

#### VI 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置

##### 1 自己点検及び自己評価

委員：現金の出納など内部の人が別部門をチェックするような、内部監査部門についての記載があるか。

大学：現金の出納に関することが総務課の1人に集中してしまっている。現金監査が別に入るのが望ましいが、人員が必要なためなかなかできない。プロパーな人員を充実させ、実施していきたい。

委員：そのような方向に向かって行ってほしい。

## 2 情報公開及び情報発信

委員：2023年度の認証評価を見据えてというのは、情報公開、情報発信のウエイトを占めるのか。  
大学：認証評価は公開しているデータですべて評価する流れになっているため、見える化を重点的な手法として取り入れるように言われている。文科省の役人から見てわかりやすい形にする。

## Ⅶ その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置

### 1 施設・設備の整備及び活用

委員：大学院関連設備については別項目に記載は48ページの⑤のことか。

大学：39ページの大学院の改組拡充への対応に記載している。

委員：別項目と記入せず、内容を記入すればよいのではないか。

委員：障害者で車いすの人はいないか。

大学：いない。急な階段が厳しい人はいる。避難所になった時の避難者には車いすのひとがいた。防災面も含めて、市民に対する貢献に資するため、引き続き整備を進めていきたい。

委員：学生用駐輪場（60台分）は学生が自転車に乗って降りるため、下に整備したのか。

大学：事故をするという危険な事例が今まであったため下に整備した。

委員：精度の高い施設整備計画の策定について、既に理事会で承認されているという文言はあるのか。

大学：他の事業と同様に承認されている事業のため、あえて記入せず、取っても良い。ただし、年度計画は市で承認されて公表しているため修正してよいか不明。

## 2 危機管理及び安全管理

委員：防災訓練で参加できていない人は都合が悪かったのか。

大学：講義がある学生が参加しているため全員ではない。実習で大学にいない学生もいる。

委員：真面目に参加しているか。

大学：教員が指導して、予定していた時間よりも早く避難できた。誘導する教員の訓練にもなった。

## Ⅷ 予算、収支計画及び資金計画

委員：損益計算書で約5590万8千円赤字になっていること、資金が1億5千万円減っていることは予算通りで、想定外ではないか。現預金が1億5000万減ったが、運営していく上で必要資金は基本的には確保できているという認識で良いか。現預金が3億7200万円で十分なのか。

大学：ほぼ予定どおり。決算上は計画した範囲内。入試が良かったため、収入確保ができたことによって、想定よりも良い状態で、最小限の赤字で済んだ。

市と交渉しつつ、予算を絞られながら運営しているため、立場上、十分とは言えない。

委員：外部に公表されるのか。

大学：公表する。

委員：損失の処理に関する書類の（案）は評価委員会で審議をとる項目ではないか。

大学：理事会では審議をとっている。市で承認を行う。